

山城北保健所管内の感染症発生動向調査

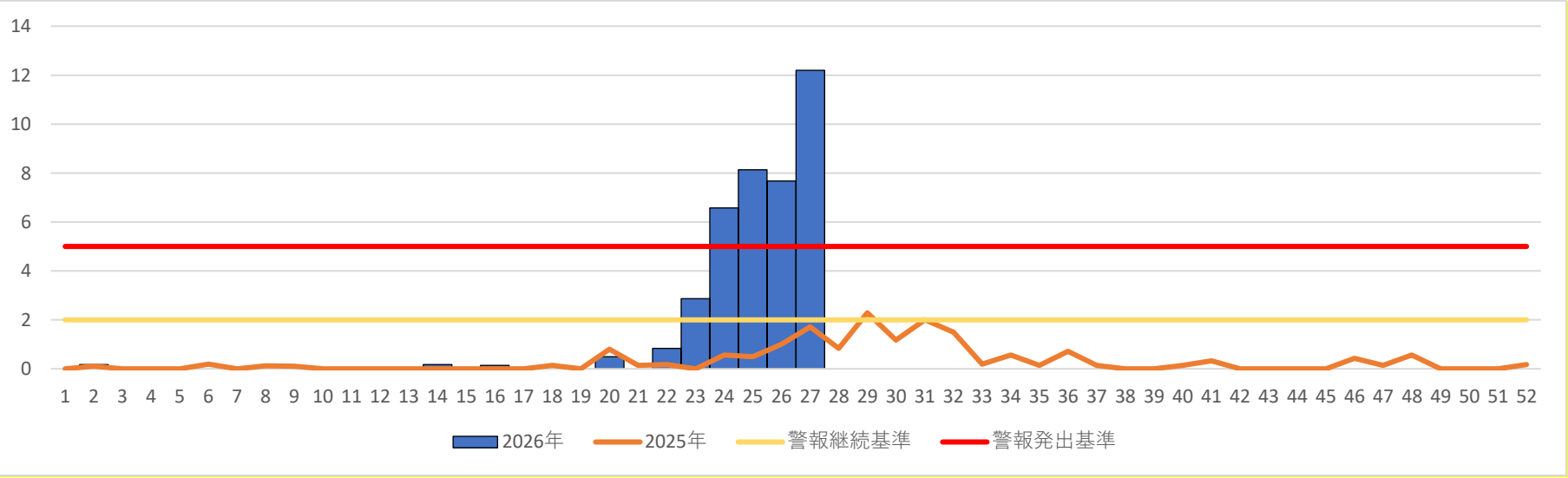
(ARI定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

2026年 第27週 令和8年6月29日～令和8年7月5日

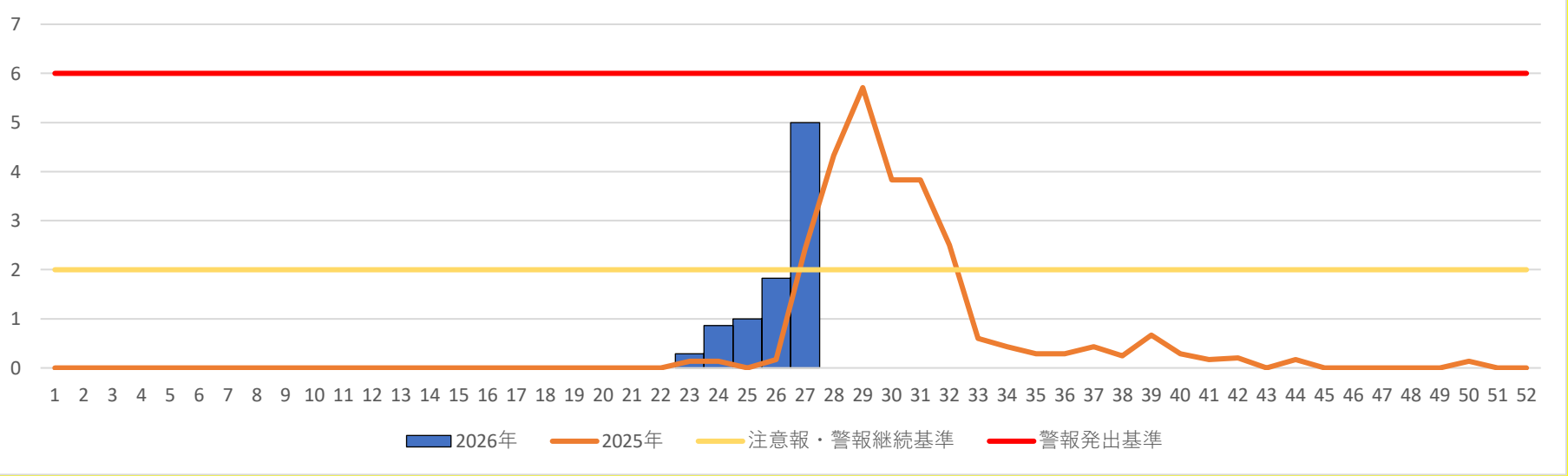
今週のコメント

- 「手足口病」の定点当たりの報告数は、12.20（26週7.67、25週8.14）と増加傾向で、警報発出基準を超えています。感染防止のためにしっかりと手洗いをし、タオルの共有は避け、排泄物を適切に処理するようにしましょう。
- 「ヘルパンギーナ」の定点当たりの報告数は、5.00（26週1.83、25週1.00）と増加傾向です。
- 「水痘」の定点当たりの報告数は、0.60（26週1.17、25週0.86）と横ばいでした。
- 「新型コロナウイルス感染症」の定点当たりの報告数は、2.88（26週1.00、25週1.20）と増加傾向です。
- 「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」の定点当たりの報告数は、2.00（26週4.67、25週3.29）と減少傾向です。

手足口病（定点把握疾患）山城北保健所管内週当たり報告数



ヘルパンギーナ（定点把握疾患）山城北保健所管内週当たり報告数



定点把握疾患

<特定の医療機関（定点医療機関）を定め、その医療機関を受診した患者の数を基に、流行状況を把握>

疾患名	定点あたりの報告数（前週比）	疾患名	定点あたりの報告数（前週比）
インフルエンザ	0.13（0.00）	手足口病	12.20（1.59）
新型コロナウイルス感染症	2.88（2.88）	伝染性紅斑	-（0.00）
RSウイルス感染症	-（0.00）	突発性発しん	-（0.00）
咽頭結膜熱	2.00（4.00）	ヘルパンギーナ	5.00（2.73）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00（0.43）	流行性耳下腺炎	0.20（1.18）
感染性胃腸炎	3.00（0.86）	急性出血性結膜炎	-（0.00）
水痘	0.60（0.51）	流行性角結膜炎	-（0.00）

定点あたりの報告数＝1週間の報告件数／定点数

警 報：1週間の定点あたり報告数が、ある基準値（警報の開始基準値）以上の場合に発生します。

前の週に警報が発生していた場合、1週間の定点あたり報告数が別の基準値（警報の継続基準値）以上の場合に発生します。

注意報：警報が発生していないときに、1週間の定点あたり報告数が、ある基準値（注意報の基準値）以上の場合に発生します。

全数把握疾患

<全ての医療機関から医師の届出が義務付けられている感染症>

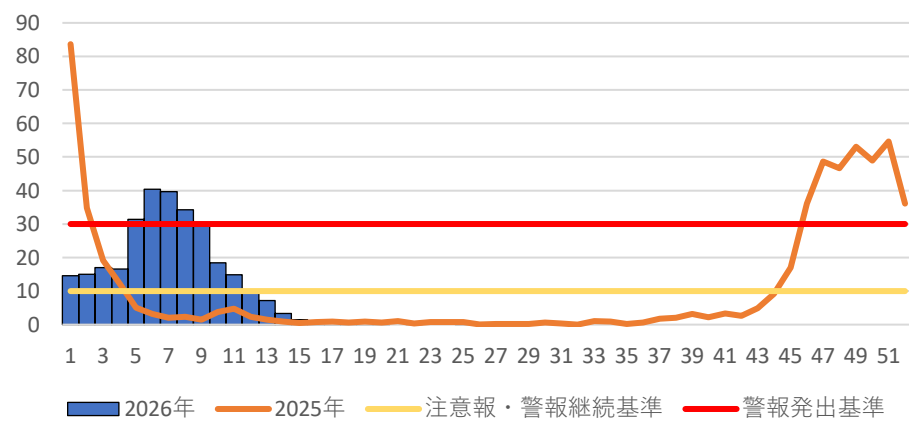
分類	報告
1類感染症	報告なし
2類感染症	結核1件
3類感染症	報告なし
4類感染症	報告なし
5類感染症	急性脳炎1件

※このデータは速報値であり、今後変更等が行われる可能性があります。ご了承ください。

参考：京都府感染症情報センター <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

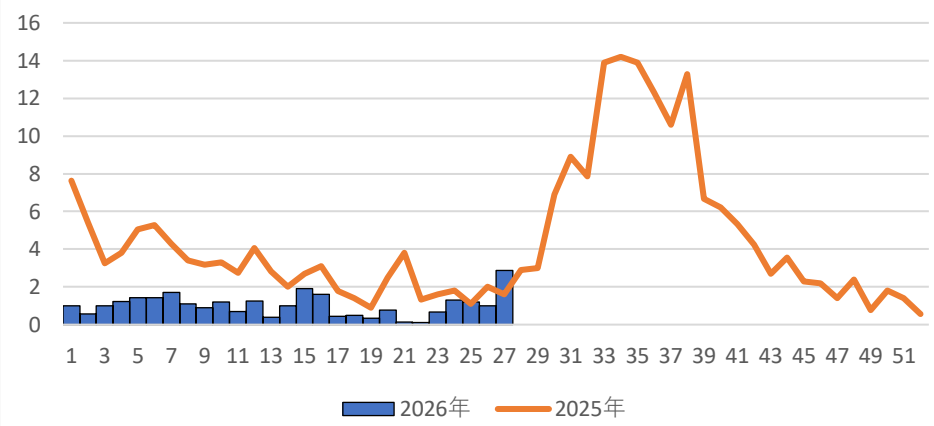
山城北保健所管内定点当たり報告数推移

インフルエンザ



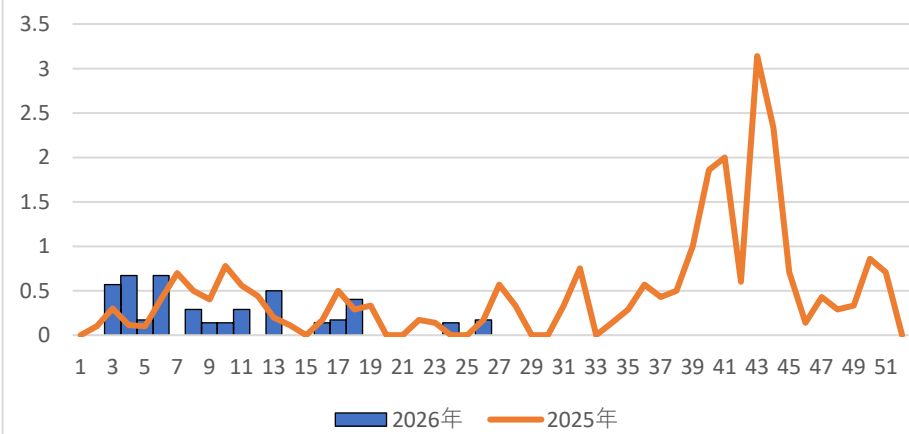
新型コロナウイルス感染症

警報基準なし

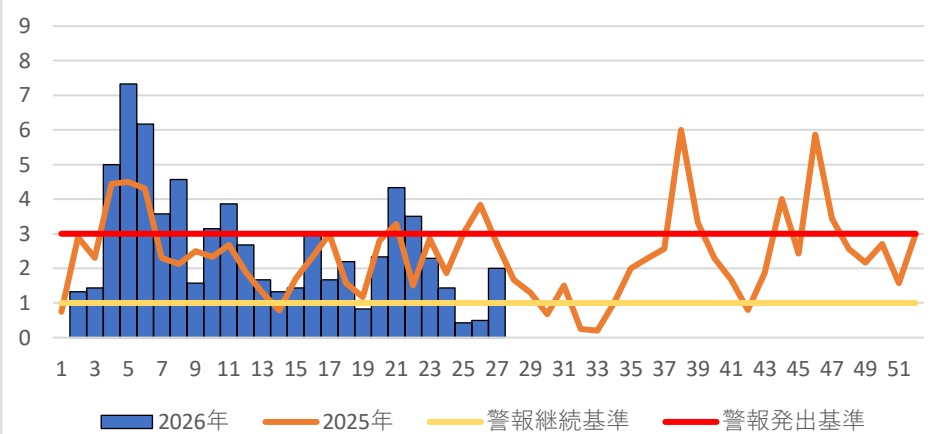


RSウイルス感染症

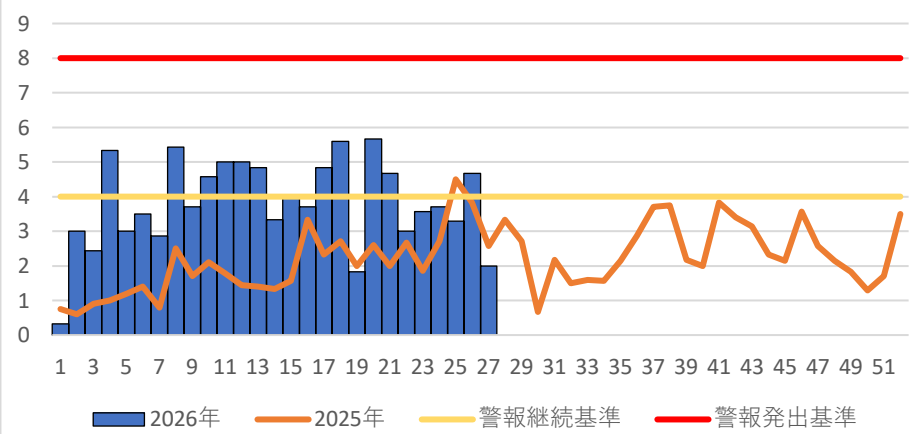
警報基準なし



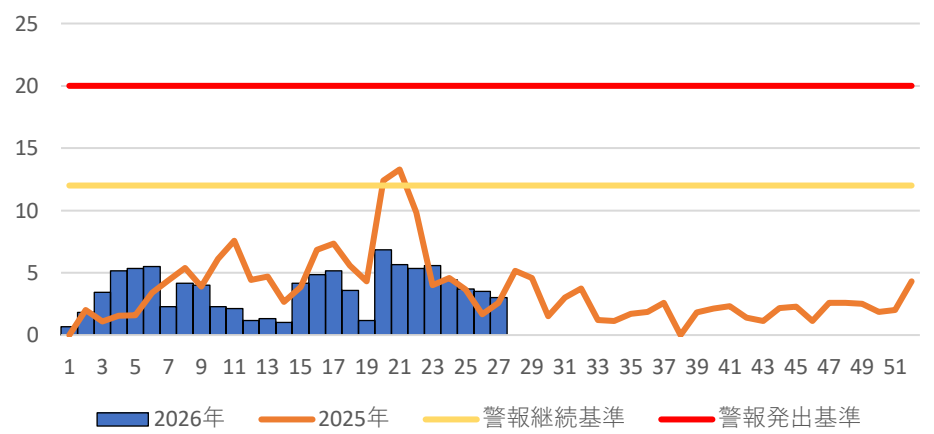
咽頭結膜熱



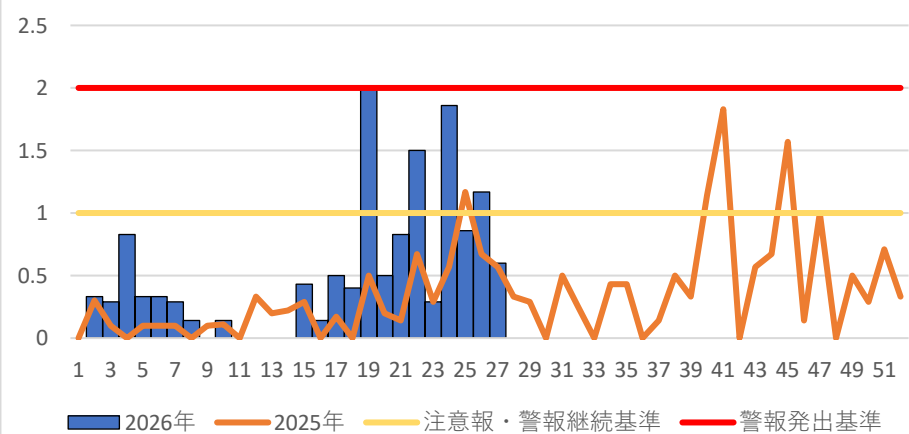
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



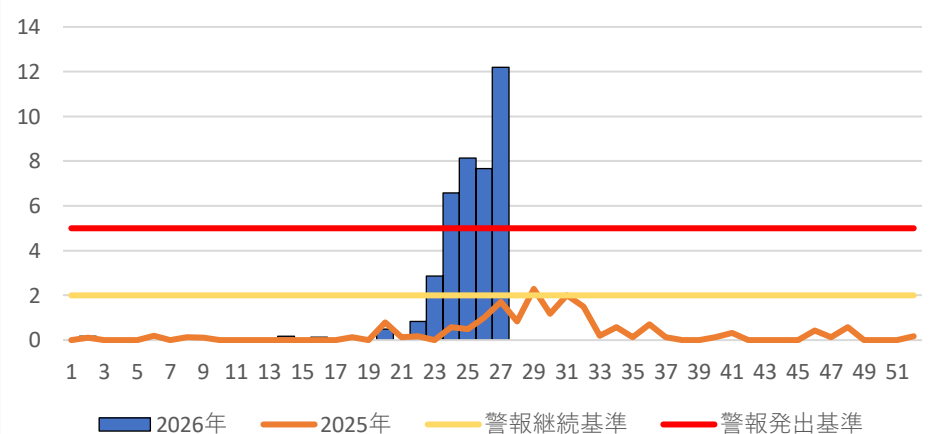
感染性胃腸炎



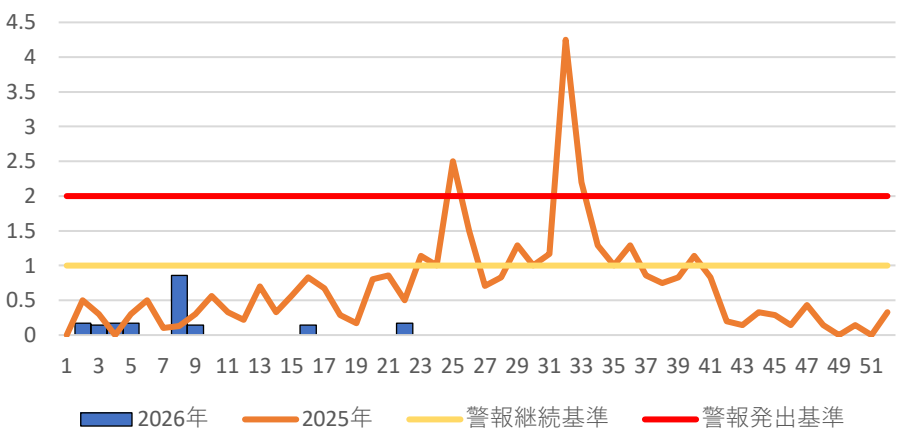
水痘



手足口病

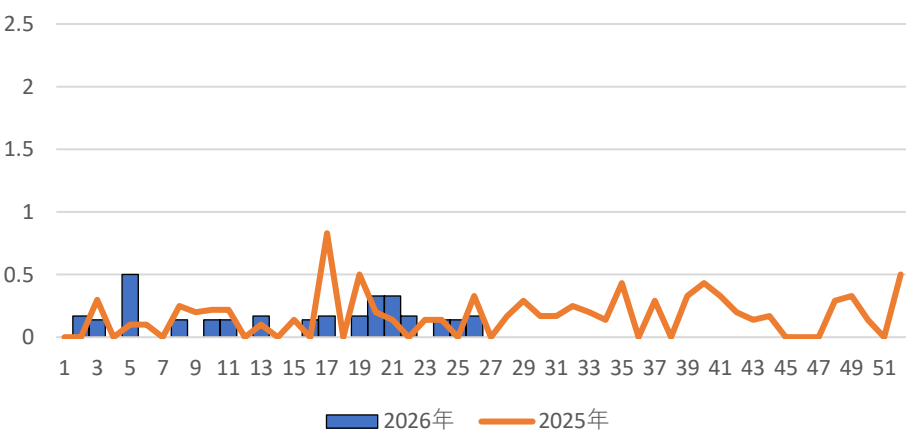


伝染性紅斑

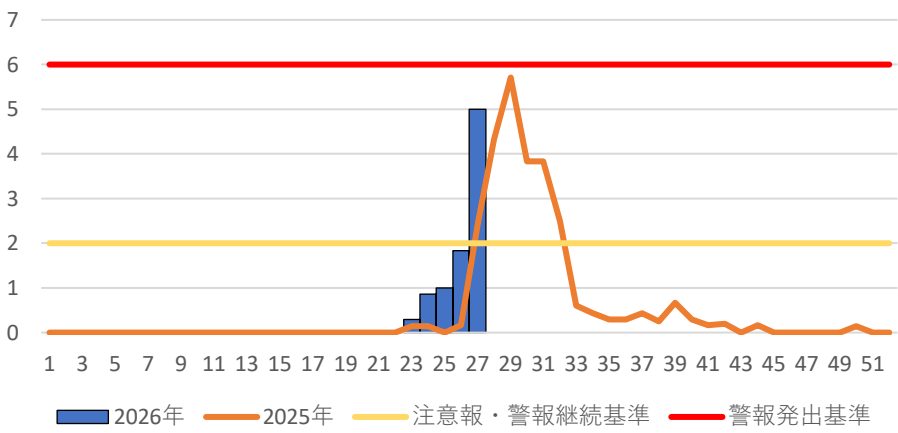


突発性発しん

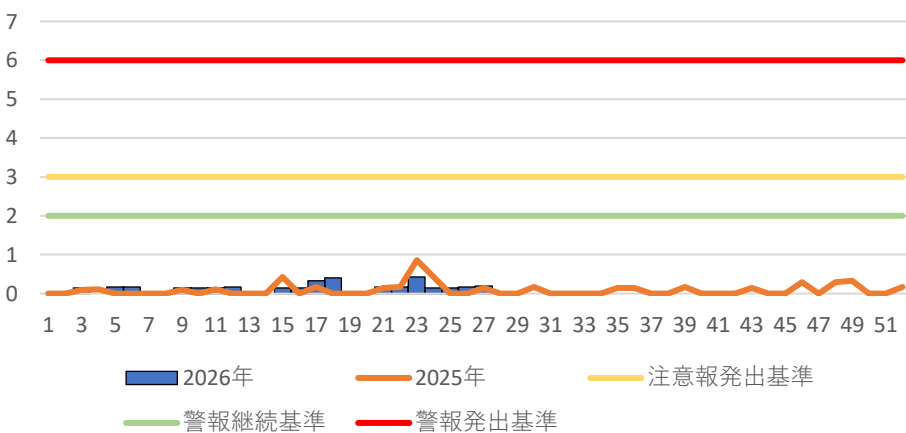
警戒基準なし



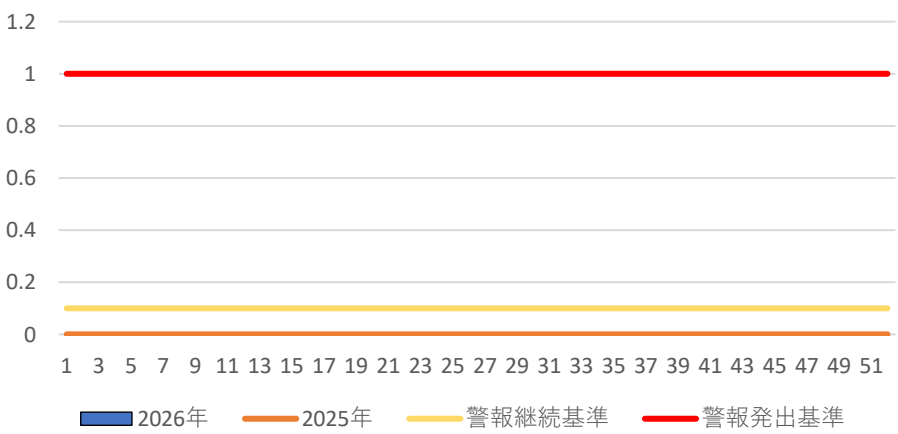
ヘルパンギーナ



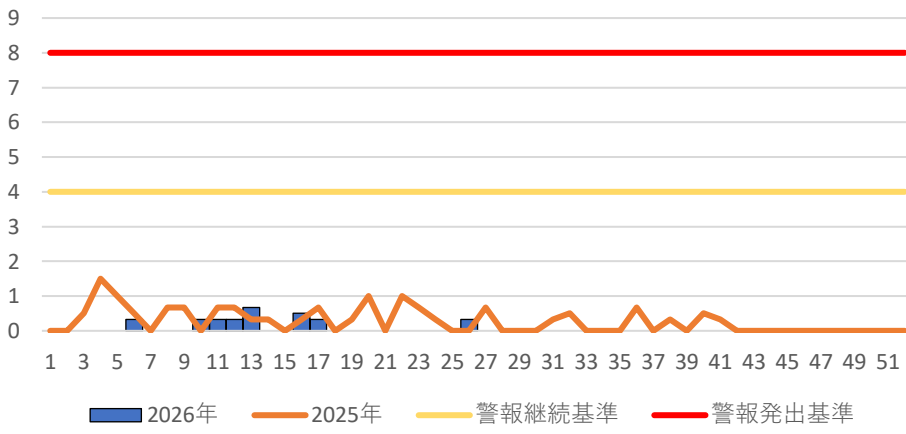
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症（ARI）とは

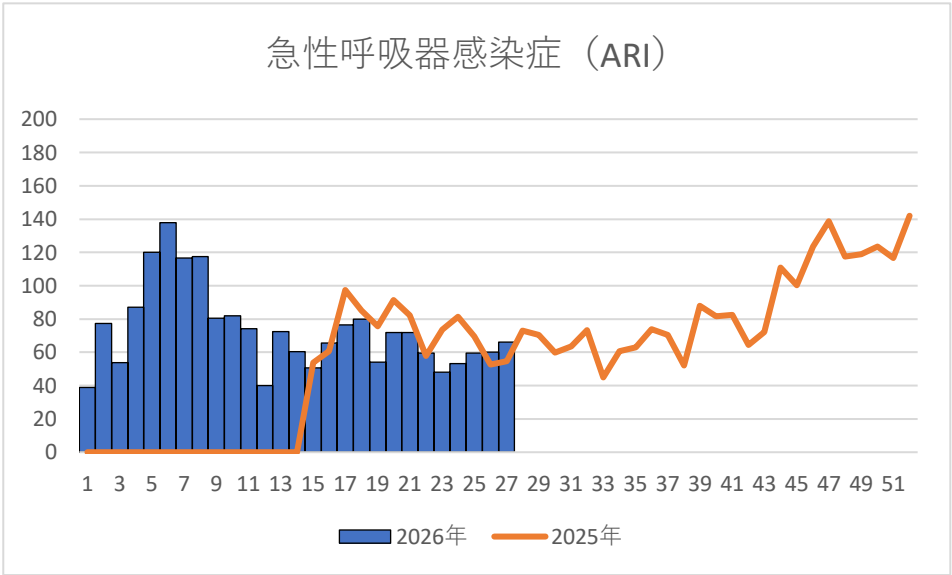
急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。以下の症例定義（※）を満たす場合に報告対象となることから、インフルエンザやCOVID-19等と診断された場合でも、ARIの症例定義の症状があれば両方の報告対象となります。

※ 咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

	定点あたりの報告数（前週比）
急性呼吸器感染症（ARI）	66.20（1.10）

山城北保健所管内定点当たり報告数推移



※ 急性呼吸器感染症：2025年4月7日から集計を開始

参考：京都府感染症情報センター 京都府におけるARI発生状況 <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/ari.html>